



令和7年度 いわき市立四倉中学校 学校経営・運営ビジョン

- 県教育委員会重点施策
- 学校教育指導の重点
- いわき市教育大綱
「地域が人を育て、人が地域をつくる」
- いわきの学校教育A B C プラン
「夢に向かってチャレンジする子どもを育みます」

【白銀の松】

しきがねの松には、光沢あるしきがねのよう、銀色燐然と輝く高潔な松という意味合いがある。校歌「白銀の松」のように、四倉中学校の生徒が光り輝き、すくすくと清く正しく育つことを願っている。

校歌:白銀の松 (想・学・愛)

- | | |
|----|---|
| 信条 | 1 よく個性を伸ばし
2 よく技能を身につけ
3 よく他人と協和し |
| 目標 | 1 巾のある実力
2 豊かな情操
3 逞しい健康 |

【教育目標】

- 心豊かで創造性に富み、実践力のある生徒
- 自ら学び、学力の向上を目指す生徒
 - 自ら考え、思いやりのある生徒
 - 自ら鍛え、心身ともに健やかな生徒

【校訓: 地域の願い】

- 「白銀の松」に込めた思い。
- 地域に貢献できる人材の育成

【家庭・保護者の願い】

- 将来に目標をもち、主体的に学習に取り組む生徒
- 健康でたくましい生徒
- 道徳性と豊かな人間性をもつ生徒
- 保護者と意思疎通が図れる学校
(情報の密接な交換・教育相談)

【目指す学校像】信頼される学校

- 生徒一人一人の資質・能力を最大限に伸ばし「自己肯定感」「自己有用感」が高められる学校
- 生徒一人一人を大切にする学校
- 人との関わりを通して「道徳性」と「豊かな人間性」を育める学校
- 安全・安心が図れる学校
- 子どもが「主語」となり活躍できる学校

【目指す教師像】

- 教育愛に燃え、プロとしての使命感・倫理観のある教師
- 教師力を高めるため自己研鑽できる教師
- 生徒一人ひとりに必要な指導と支援をきめ細かくできる教師
- 組織として「和」を大切にできる教師

【教育課題1】 知識の理解の質を高め3つの資質・能力を育む

1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- ・単元や授業のまとめの中で育成すべき力を明確にした授業と評価
- ・「学びの変革プラン」「授業スタンダード」を活用した授業改善
- ・主体的に考え、表現し、伝え合う言語活動の充実(思考ツールの活用)
- ・A I を使いこなす資質、能力の育成(GIGA 端末の積極的活用)

2 学力の基盤となる「読解力」の向上

- ・朝読と家読の推進
- ・学校司書との連携(各教科との連携、読書環境整備)

3 自己マネジメント力の育成と主体的な家庭学習への取組

- ・「定期テスト」におけるP D C A サイクルの習慣化(助言と指導)
- ・家庭学習の内容を自ら決め自ら取り組む「自主学習ノート」活用の工夫

4 可能性の伸長

- ・各種検定、コンクールへの積極的な挑戦・支援

5 個に応じた学習支援

- ・全国学力・学習状況調査、県学力調査の活用(R-PDCA、個の学力分析、I-SUS調査)
- ・E-room と特別支援学級支援の充実

1 ビデオ撮影による自己授業の分析(1人1授業研究会)

- ・学校生活や学校行事における生徒の行動場面を見逃さない指導
- ・道徳科の授業の充実(考え方議論する道徳)

2 相互授業参観

- ・ICT サポーターとの連携
- ・全校一斉読書タイムの推進
- ・学校司書との連携

3 個に応じた家庭学習への指導と支援

- ・自主学習への指導支援(R-PDCA)の推進
- ・全国学力学習状況調査、ふくしま学力調査分析と授業の改善策検討

4 委員会活動・特別活動の活性化

- ・委員会活動の活性化(学校委員会の定期開催)
- ・主体的で自主的な生徒会活動

5 差別や偏見のない社会を目指す態度の育成

- ・人権教育の推進
- ・健全な成長を促す部活動の推進

【教育課題2】 健やかな心身の成長と「自己有用感」「自己肯定感」の向上

1 豊かな心を教育活動全体で育成

- ・重点:「思いやりの心」「感謝の心」
- ・学校生活や学校行事における生徒の行動場面を見逃さない指導
- ・道徳科の授業の充実(考え方議論する道徳)

2 心身の健康増進と安全な生活習慣の育成

- ・交通安全・防災・カーボンニュートラル教育の推進
- ・望ましい生活習慣の指導
- ・体力向上推進計画の全校的な実践
- ・生徒指導・教育相談体制の充実

3 総合学習の充実

- ・学年テーマによる調査・発表・体験活動
- ・キャリア教育・進路指導の推進
- ・外部講師を活用した各種教育の実施(いじめ、メディア、有権者等)

4 生徒会活動・特別活動の活性化

- ・委員会活動の活性化(学校委員会の定期開催)
- ・主体的で自主的な生徒会活動

5 多様性の受容・持続可能な社会への意識化(ダ・バーシティ&インクルージョン)

- ・差別や偏見のない社会を目指す態度の育成
- ・人権教育の推進

6 健全な成長を促す部活動の推進

- ・部活動基本方針の遵守

1 意図した仕掛けと場面を見逃さない指導

- ・「あいさつ」の励行
- ・適切な道徳の授業実践と評価の累積

2 関係団体と連携した防災学習の推進

- ・問題行動の早期発見・組織的で迅速な対応(はう・れん・そうの励行)
- ・生徒一人一人に寄り添う生徒指導(多面的・多角的な視点と理解)

3 S C 等関係機関との連携

- ・4つの資質・能力の育成を位置付けた総合学習の実践
- ・公民館等との連携(学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業)

4 係活動や各行事での生徒指導の機能を活かした実践(一人一役の活躍の場)

- ・「無言清掃」の実践

5 公民や市の活動指針を基に適切な部活動運営の推進

- ・部活動による心身の鍛錬、自己表現の確保

【教育課題3】 地域を愛し、愛される(信頼される)学校づくり

1 情報発信による学校理解促進

- ・「学校だより」の発行
- ・各種たより・通信類の発行
- ・H P や通信機器の有効活用
- ・校内行事への参観機会の確保
- ・「学校へ行こう」週間の啓発

2 教育実践状況の積極的な公開

- ・授業参観・懇談等の実施
- ・こまめな情報交換と教育相談等による保護者との意思疎通

3 教育活動公開の機会確保

- ・地域行事へのP T A や地域と連携した取組
- ・関係団体との連携

4 カリキュラム・マネジメント機能の活性化(CAPD O)

- ・意見集約の機会確保
- ・独自アンケート調査分析
- ・学校評議員会の開催
- ・改善策の検討
- ・教職員の共通理解と実践

5 合意言葉は「凡事徹底」

- ・「さ(最悪を想定して)・し(慎重に)・す(素早く対応)・せ(誠意を持って)・そ(組織的に)」の周知と実践

6 服務倫理委員会の活性化

- ・風通しの良い職場づくり
- ・適切な安全指導と日々の安全点検
- ・教師間のコミュニケーションの充実